

## 令和 5 年 11 月 9 日 区長記者会見

### 【司会】

皆様、こんにちは、定刻となりましたので、只今から令和 5 年 11 月 9 日北区長記者会見を開始いたします。本日はお忙しい中お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。私は広報課長の窪田と申します。どうぞよろしく願いいたします。本日は区長のほか、政策経営部長の藤野と企画課長の倉林が出席をしております。

それでは早速ですが、やまだ区長よろしくおねがいたします。

### 【やまだ区長】

皆様、こんにちは。今日は皆様、お集まりをいただき、ありがとうございます。定例記者会見の方を開催させていただきます。よろしく願いいたします。今回の記者会見は、いろいろと記者の皆様からもご意見をいただきまして、一番トピックスの厳選された 2 つの内容を中心に会見の方で公表させていただきたいと思い、資料を作成いたしました。

まず表紙ですが、西ヶ原にあります、旧古河庭園の紅葉の写真です。今、あのバラのフェスタもやっておりますが、これから紅葉の季節になりますので、ぜひお立ち寄りいただければと思います。では一点目からご説明させていただきます。一つ目はふるさと納税についてであります。

北区では令和 4 年度は約 18 億円、令和 5 年度は速報値で約 21 億円、ふるさと納税制度にて、本来区民サービスに使われるべき貴重な財源が流出をしております。そういった現状の中で制度そのもの、ふるさと納税制度そのものについては、特別区区長会としても国へ是正に向けた要望をしているところではありますが、北区としましてもこれ以上の流出額を防いでいく。このことが大切だと思っておりますので、制度が国において改定や、また変わっていくのを待つ間に少しでも流出額を防いでいくための作戦を考えました。北区ならではの返礼品を充実させていくことで、対策を講じてまいります。

今回、新たな返礼品、以前、ふるさと納税の返礼品につきまして、さとふるを活用していきますと記者会見でも発表させていただきました。今回は内容について、返礼品についてのご紹介です。

まず一つ目が JRE MALL の出店であります。これはもう鉄道ファンにはとっても魅力的な返礼品になると思っております。

鉄道のまち北区だけの特別な体験型の返礼品をご用意させていただきました。尾久駅に操車場がある北区といたしまして、これまでも鉄道ファンの方々や電車好きのお子さんが楽しめる鉄道スポットを観光資源として PR するなど、鉄道のまち北区として観光振興してまいりました。

今回、JRE MALL への出店で、北区だけの体験型返礼品であります。一つ目、プラン 1 がディーゼル機関車、こちらに乗れる。機関車に乗って JR 尾久駅構内を探索する。電車に乗って走るということですね。とともに、乗務員の訓練用シミュレータを体験できるというこの二点。寄附金額といたしましては 33 万 4000 円で、この体験が約 3 時間のコースと想定をしております。で、こちらについてはですね、各 1 名。2 月下旬と 3 月上旬の 2 回のご用意であります。

プラン 2 が寄附金額 16 万 7000 円で、電気機関車のヘッドマークオーダー、プレートですね。電車の前に付けるプレート選んでいただいて、それを付けてその脇で写真が撮れる。また、その電車の中を見学体験できるというコース。

それに加えて、乗務員の訓練用シミュレータも体験いただけます。このこちらのプラン 2 の方はですね、同じく 2 月の下旬に 1 回、3 月上旬に 1 回、各 2 名で 4 名っていう形で、プラン 1、プラン 2、合計 6 名の方。これはですね、申し込み先着順でありますので、本当にすぐ終わってしまうかもしれませんので、ぜひ鉄道ファンの方々ご注目をいただきたいと思います。

二つ目が人間国宝奥山峰石先生の銀製品を返礼品させていただきます。北区名誉区民でもあり、鍛金家の人間国宝奥山峰石先生の作品を今年新たに返礼品として加えました。人間国宝の方が自ら作った作品を扱っているのは、ふるさと納税ポータルサイトさとふるの中では北区だけ、唯一であります。すでに、ぐい呑みの方ですが、2 件お申し込みをいただきました。

三つ目が区内事業者と連携をいたしまして、来年 4 月に向けた渋沢栄一翁を盛り上げていくということで、オリジナルグッズ渋沢翁商品開発助成を活用していただきまして、開発した商品を、北区でしか手に入らない渋沢翁レア商品として返礼品としてご用意をいたしました。

今日、返礼品の一覧もお渡しをさせていただきますので、またホームページでもご紹介をしておりますので、ぜひご覧をいただきまして、鉄道ファンの方、また人間国宝の貴重な返礼品、また渋沢グッズをぜひご活用いただきまして、応募いただけたらなというふうに思っています。

大きく二点目についてです。今回、来年の 7 月に向けた渋沢栄一新一万円札、カウントダウンプロジェクトについて取り上げさせていただきます。いよいよ具体的な事業が始まります。事業開始に向けてカウントダウンプロジェクト専用のホームページを作成いたしまして、公開をしております。また、ロゴマークも決まりました。

上の一万円札の 10000 としぶさわ君のキャラクターです。こういったロゴマークも決まりまして、公民連携で機運醸成に力を入れていきたいと思っております。そのうち三つ、今日は取り組みについてご紹介をしたいと思っております。

一つ目の取り組みが北区で初めての取り組みであります。

広く区民の皆様にアイデアをいただいて事業を行っていく、新一万円札や渋沢栄一をテーマにしたギネスに挑戦を、区民 35 万人目指してですが、区民みんなでギネスブックに挑戦をしていく。その内容について区民の皆様にアイデアを募集します。

あわせてこんなことやってみたい、こんなことが事業としてあったらおもしろい。そのような取り組みを広く意見を募集し、審査の上、賞を決定していきます。コースは二つあります。一つはきらめきコースともう一つはプレゼンをしていただきながら、事業提案を行っていただく二つのコースです。応募が 12 月 6 日が締め切りとなっておりますので、まだまだ 1 カ月あります。ぜひ区民の方々、面白いアイデアをご応募いただけたらなと思っております。

そして、二つ目が渋沢翁の命日であります、11月11日。青淵忌になぞらえて、「北区を藍(あお)く染めよう大作戦」を行います。前回紹介した飛鳥山のライトアップのほか、Instagramで青いものを身につけて写真を撮っていただきまして、#渋沢ブルーで投稿していただき、みんなで盛り上げていきたいと思ひます。

写真はプロジェクトチームの、カウントダウンプロジェクトのホームページの中でも、皆さんの分、ご紹介していきたいと思ひますので、ぜひ11月11日、青淵忌の日にはですね、青い何かを付けて、もしくは青くライトアップされたものを写真に撮っていただきまして、Instagramでのアップをお願いしたいと思ひます。

三つ目が北区アンバサダー、水森かおりさんが歌うプロジェクトのPR大使「しぶさわくんの唄」。この歌で振り付けを観光協会につけていただきました。この歌で踊っていただきまして、またその踊った動画をぜひとも投稿していただきたいと考えています。投稿方法などは現在準備中ではありますが、決まり次第、ホームページやSNSでお知らせをまいりますので、さまざまな地域や学校、幼稚園、保育園など皆様のイベントの中で「しぶさわくんの唄」で踊っていただきまして、投稿いただきたいと思ひます。

私も今練習中でありまして。あと練習できたらまたどこかで公開していきたいと思ひています。

ホームページからは11月11日と11月12日、この命日に合わせて多く行われるイベントについてのカウントダウンプロジェクトイベント一覧を、ホームページ上でも公開をさせていただいておりますので、さまざまな飛鳥山公園をはじめとする多くの場所でイベントが行われます。

ぜひイベントルートをたどっていただきまして、2日間渋沢翁を感じていただきたいと思ひています。

今日ご紹介いたしますトピックスとしては、この二点になります。そして、資料として記者の皆様にお付けをしております四点がございます。

一つは、新庁舎設計業務委託公開プレゼンテーションの傍聴者を募集しています。情報公開をいたします。

この点と、二点目が、23区で初めて災害時医療情報共有システムを区のホームページと連携をいたしまして、薬剤師会の、北区薬剤師会の方々にご協力いただきまして、災害時にも開いている薬局を区のホームページでも公開していく。そのシステムの連携を始めます。

三つ目が、赤羽台の新たな魅力ということで、マンホールデザインの、デザインマンホールのデザインを初めて区民の方々に公募をさせていただきまして、選ばれたものが実現していく。この取り組みを行います。

四つ目が、11月11日から12月18日まで行われます、北とぴあ国際音楽祭2023。これは毎年開催しておりますが、日本で初めて上映されます、ラモー作曲最後のオペラ「レ・ボレアード」が公開。全編公開というのは日本で初めてだというふうに伺っております。多くの方々が毎年お越しいただいておりますが、ぜひ今年もお楽しみをいただきたいと思ひ、今回ご紹介をさせていただきます。

この四つの内容につきましては、今日資料をお付けしております。あわせてYouTubeをご覧いただいている皆様にもホームページ上からリンクを張らせていただいておりますので、今日の記者会見内容

についての詳細に資料、ぜひホームページホームページからご覧いただきたいと思います。以上です。  
ご質問ありましたらどうぞよろしくお願いたします。

【司会】

ありがとうございます。それではこれより質疑応答に移らせていただきます。質問の際には、挙手の上、職員が持参しますマイクを使ってご発言ください。ご質問ある方はいらっしゃいますでしょうか。

【やまだ区長】

はい、お願いします。

【質問者 都政新報社】

都政新報社のドイと申します。災害時医療情報共有システムについて伺いたいのですが、これを始めるきっかけというか、理由を教えてください。

【やまだ区長】

もともと北区薬剤師会の皆様が、災害時の対応で団体としてさまざまな取り組みをされてきた。また、災害時の医療連携として北区や医師会、歯科医師会、また薬剤師会、柔道整復師会、看護協会を含めて、医療現場の方々と災害時の避難所運営、そういったものを検討する会議の中でご紹介をいただきまして、これから北区としても災害対応の新たな仕組みを、システムを、来年度入れていく中で、こういった各団体が活用、また作っていただいているものとの連携を、組み合わせをしていくということの初めての取り組みであります。

【質問者 都政新報社】

はい、ありがとうございます。改めてこれに期待することを、やまだ区長のコメントなどをいただければ。

【やまだ区長】

そうですね。この間ずっと、災害対応が最もスピード感を持ってやるべき項目の一つとして、北区としてやれるものは始めました。あわせて災害時に大切な各団体や医療関係者、地域、東京都や国も含めて連携を強化していくことがとても重要だと思っておりますので、その北区として体制を整えていくこととともに、関係機関とどのように連携を、システム上も、また訓練上も行っていくかということをしっかり強化していきたいなというふうに改めて感じています。

【司会】

他にはいかがでしょうか。

【やまだ区長】

お願いします。

【質問者 東京新聞】

東京新聞オガタと申します。二点ありまして、一点がふるさと納税の JRE MALL。先着順ということな

んですが、いつから募集ですか。

【やまだ区長】

この募集開始はですね。12月。そうですね、まだ日にちが決まっていないうすけれども、12月上旬から募集を開始いたします。事前に告知はさせていただきたいと思ひますので。多分、すぐに応募いっぱいになっちゃうと思ひるので、しっかりと告知させていただきたいと思ひます。

【質問者 東京新聞】

あともう一点が、12月16日の新庁舎整備業者プレゼンテーション公開なんですけど、これはもう参加業者は決まっているんですか。

【やまだ区長】

プレゼンを行う事業者は決まっています。はい。

【質問者 東京新聞】

これも公開されているんですか？チラシだとわからないんですけど。

【やまだ区長】

プレゼンを行う事業者名ということでもいいですか。

【政策経営部長】

プレゼンを一般的にやるときには、事業者名は公表せずに、それは実際、審査員の方も事業者名がわからない中で、A社、B社、C社という形でプレゼンテーションをしていただくので、事業者名が出るのは本当に最終的に業者選定がされた後ということになります。

【質問者 東京新聞】

わかりました。いつ頃出るということも決まってないということですね。

【政策経営部長】

はい。そうです。

【司会】

他にいかがでしょうか。

【やまだ区長】

はいお願いします。

【質問者 朝日新聞】

すみません。朝日新聞のモリシタです。ふるさと納税のですね、この体験型のところで質問なんですけど、これ尾久駅っていうんですか、尾久駅を隅から隅まで走るというのはちょっとイメージが湧かない

のですが、ぐるっと回れるってということですか？

【やまだ区長】

そうですね。ディーゼル車でぐるっと回る形を。

【政策経営部長】

駅構内にあるんですけど、実態は操車場になっていまして、例えば上野東京ラインとかの車両基地になっているんですね。だから、かなり広大な敷地になっていますので、そこの中でいろいろな点検作業とかやっているんですけど、そういう風景を実際に見ていただくと。

【質問者 朝日新聞】

そのコーナーをぐるっと走って見れるってということ？

【政策経営部長】

作業現場を見れるというのがなかなかない経験。お祭りとかやって一般的に開放する時はあるんですけども、それはもう休んでますので、仕事そのものは。それが今回は実際作業してる風景を見れるってところが大きな特徴になっています。

【質問者 朝日新聞】

大体1周して何分ぐらいですか。

【政策経営部長】

どのルートを回るかまでは、まだ決めていないのですが、時間としては全体で3時間。

【質問者 朝日新聞】

3時間電車にずっと乗れる？

【政策経営部長】

乗れるのと、シミュレーション体験。

【質問者 朝日新聞】

シミュレーションというのは、運転手さんが実際に。

【政策経営部長】

実際、運転手が練習する。

【質問者 朝日新聞】

はい、わかりました。これが3名で、下の見学会が3名で、計6名。

【やまだ区長】

上が、ディーゼル車に乗れるのが2名です。1回につき1名で2回開催しますので、2名。  
もう一つのプラン2の方は1回で2名の方に体験いただけますので、2回行って4名。合計で6名です。

【質問者 朝日新聞】

わかりました。

あと、渋沢栄一さんの命日っていうのはこの11日で、これは元々この肖像展とかをやっているものですよね。

【やまだ区長】

そうですね。はいそうですね。

【質問者 朝日新聞】

その特別に何かをやられるとかいうわけでなくて、こういうのがやっていますよということですよ。

【やまだ区長】

はい。この時のためにカウントダウンプロジェクトとしてやっていただくイベントや、それから渋沢財団や関連の機関、全てのイベントをですね、1枚にまとめてみました。

なので渋沢関連のイベントについて、選んでいただきながら待っていただけるように、こういった情報がいろいろなところに分散しているので、集約をさせていただきます、はい。

【質問者 朝日新聞】

なるほど、じゃあこの土曜日だけにやる、この葬儀の様子とかもずっと日常的にやっているってことですよ。例えば渋沢資料館で葬儀の実況中継の映像が流れると書いてあるんですけど、これはこの日だけ特別に流れるのか。もう、もともとずっと常設展としてやってらっしゃるのか。

【やまだ区長】

上の部分のですよ。

【質問者 朝日新聞】

はい。

【やまだ区長】

そこは、はい。

【シティプロモーション推進担当課長】

はい、渋沢史料館については、青淵忌といったところで特別な展示と、あと常設展も行っておりますので、そちらの情報を記載させていただいております。

【質問者 朝日新聞】

これはこの日だけというわけじゃなくて、もともとやっているものっていう。

【やまだ区長】

常設展の中で映像が入っている部分あります。

【シティプロモーション推進担当課長】

その葬儀の様子というのは11月11日に特別な展示になってくるかと思います。

【質問者 朝日新聞】

なるほど。じゃ、これはこの日だけなんですね。

【シティプロモーション推進担当課長】

そうですね12日のタイムスケジュールの中にはそちらございませんので、はい

【質問者 朝日新聞】

わかりました。ありがとうございます。

【やまだ区長】

他にいかがでしょうか。はいどうぞ。

【質問者 都政新報社】

すいません、カウントダウンプロジェクトの区民アイデアの募集について伺いたいんですが、これは何件ぐらい選定するのかですとか、選定した場合、来年度予算に盛り込むのか。盛り込む場合の上限額など何か決まっているものがあれば、詳しく教えてください。

【やまだ区長】

来年度当初予算に予算計上していく考えであります。件数等を含めてですね、色々ご応募いただいている内容を拝見しながら決定していきたいと思っておりますので、詳細についてはご応募を拝見してからということ考えています。

【質問者 都政新報社】

ありがとうございます。

【司会】

他はいかがでしょう。

【やまだ区長】

よろしいでしょうか。



【司会】

よろしいでしょうか。それでは以上をもちまして、本日の記者会見は終了とさせていただきます。ありがとうございました。

【やまだ区長】

ありがとうございました。